



山口県地域景観ワークショップ通信第 3 版

光市室積地区編 【第 1 回】

- 昨年 10 月に光市で開催しました地域景観ワークショップにご参加いただきまして、大変ありがとうございました。
- 景観の専門家による景観にまつわるセミナー、景観を探して歩いたタウンウォッチング、そして、壁新聞づくり。
- たった半日の催しでしたが、自分の五感をフル活用して景観を発見する方法を習得いただけたでしょうか？また、室積のまちや自然の景観の特徴を少しでも感じることができたでしょうか？
- 参加した当日を思い出して、みなさまの身のまわりを少し眺めたり、歩いてみてはいかがでしょうか。見慣れた風景のなかからたくさんの魅力を発見できるかもしれませんよ。

	光市室積地区
開催日	10月15日(土)
場 所	光市室積公民館
参加数	60名(8グループ) 地元在住の方、地元建築士、市外在住の方、大学生、地元の中学生など様々な立場の方が参加されました。

地 元 プ チ 情 報



室積公民館長の江枝忠昭さんから、「室積の歴史・文化」についてお話を伺いました。室積は、室町時代より山陽海路の要衝として繁栄した室積の町並みと歴史遺産の宝物がいっぱいです。高札場がまちの中心にあり、海商通りが表通り、「あいご」が裏通りにあたるといいます。

海商通りの特徴である白壁や格子戸が最近減ってきたり、海商通りの町家でもっとも古い元廻船問屋が解体されたり、残念に感じています。

景 観 セ ミ ナ ー

山口県景観アドバイザーの岡村和典氏から、「どうして景観って大切なの？」をテーマに景観とは何か、景観の大切さについてお話を伺いました。

景観というのは、かなり主観的な面があり、ある対象に対して個人が景観をどのように享受していくか、つまり、景観というものをどういう風に自分の中で解釈していくかというときに、自分の感性や価値観、歴史や文化性などで認識していくことになります。

我々は、社会的な風景の中にいるわけですから、景観を避けられないわけです。避けられないモノにかなり酷いモノがあると、慣れてしまい、何が美しいのか、何が感動的なのかっていうのが怪しくなる。ここに、非常に大きな問題があるのではないかと感じています。

美しい景観が出来れば、より豊かな住環境が出来て、よりコミュニティの育成が進み、景観も良くなり循環して行くと思うのです。だからこそ、景観は重要じゃないかと思っています。



景観発掘の手法

地域景観ワークショップ(以下、「WS」という)では、次の手法でまちを歩き、室積地区にあるお宝(景観資源)を探索しました。

発掘前の心構え

景観の発掘には、まず、心構えが大事です。セミナーで岡村さんに習った「景観が物的環境と景観の見方によって成り立つこと」を確認して出発しました。

予備知識

また、地域固有の特性を調べ、地域の歴史や文化を知ることは、発掘に重要な手がかりを与えてくれます。WSでは、江枝さんにお話しを頂いたプチ情報を手がかりにまちを歩いてみました。

発掘隊の編成

発掘は、一人でも可能ですが、立場の違う人が混成した複数で探すとより効果的です。WSでは、次のような、様々な情報・視点・知識を持っている方の体制で行い、なるべく多くの地元の人と接して情報を収集するよう努めました。

地元在住の人 ...地元でしか分からない情報

建築士 ...景観の重要構成要素である建築に関する専門的知識

学生 ...尽きることの無い好奇心と純粋な視点

地元以外(市外に在住)の人 ...地元では当たり前と感じがちな良好な景観に気づく視点



グループの装備

さて、調査に使用した道具を紹介します。

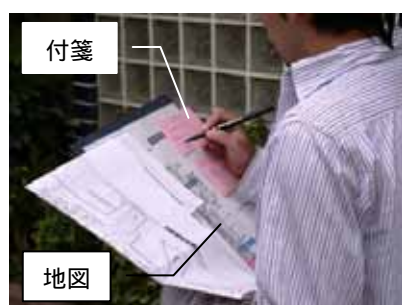
額縁 ...A1のダンボールで作成したもの

地図 ...書き込み可能な住宅地図(A3)

付箋 ...皆の意見を書き留めるメモ帳

カメラ ...インスタントカメラ

額縁は、景観を切り取ってみるのにとっても有効です。風景写真を撮るときに、ファインダー越しに見ると良い景色が見つかることが出来るように、漠然と探しても見つからない景観が、この額縁を使うと不思議と沢山発見できます。地図は、発掘箇所とコメントを書きとめ、付箋にメモをするのは、後で壁新聞を作成するときに有効です。インスタントカメラは現像や出力の手間も要らないので便利でした。このような道具を使い、グループのメンバーで役割分担を決めて上手に探索しました。



発掘現場

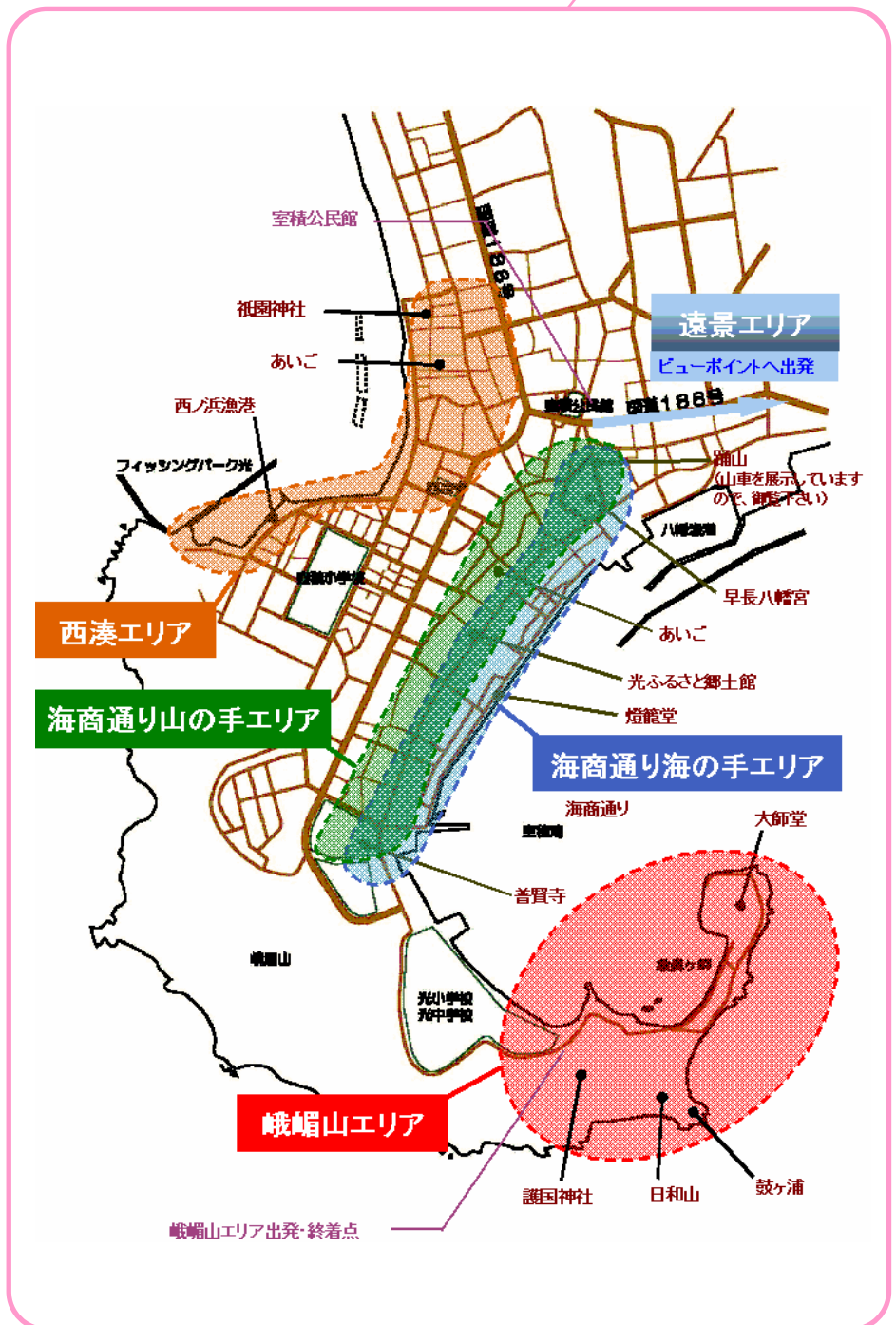
発掘現場では、潮の香りや人の温かさなど、目で見えるものだけではなく、五感で感じるよう心がけました。予備知識も活用し、その土地の歴史や文化を思い感じながら触れて見ると景観が浮き出てきました。また、同じ対象物でも離れてみるとき、近づいてみるとき、じっとしてみるとき、移動しながらみるときでは、印象が異なり、隠れた景観が発掘されました。更に、「季節が変わったらどんな景観だろう。」とか、「霧がかかると美しいだろうな。」など想像の翼を羽ばたかせることもしてみました。

発掘した景観で壁新聞を作成

景観は、それぞれの心の中にあるうちは、共通認識も得られずに、保全や形成につながりません。発掘された景観資源は皆の財産です。そこで壁新聞を作成し、なるべく多くの人目に触れ共有するように発表しました。

光市室積地区では、8グループに分かれて、5つのエリア（海商通り海の手エリア・海商通り山の手エリア・西湊エリア、峨嵋山エリア、遠景エリア）を見て歩きました。

心地よい風、木漏れ日、鳥のさえずり、潮の香りなど、風景をより魅力的に演出する要素がさまざまありました。内容的には、自分のふるさとをまた違った見方、考え方ができ大変有意義な時間を過ごすことが出来たと感謝しています。



海商通り海の手エリア

4班「海に続くアイゴ」



- イチオシは、狭いアイゴのみち
- 海沿いへの文学の碑のみちがいい。
- 裏通りの生活のにおい、昔の風景が残っている。
- お地蔵様がいい。



6班「海の手エリア・かわら版」



- イチオシは、「アイゴ」。ほそ～、でも好き。
- 郷愁を誘う昔日の漁村に美しい日本の原風景を見た。
- 早長神社の敷石は、玄関の間口を示す??



室積の
どんな景観が
気に入りましたか？

- イチオシは、静かな普段着の道アイゴ。
- 海商通りとアイゴの対照が面白い。



- なんといっても愛護（アイゴ）がイチオシ。
- 鼓乃海（室積でしか買えないお菓子）を食べて味覚で景観を感じた。
- 普賢寺でカニを発見！
- 道路に、「7・5・3」で並んだ不思議な石を発見！



3班「海商通りへタイムスリップ」



8班「愛護のまち」

海商通り山の手エリア

西浜エリア

1班「潮の香るまち」



- 峨嵋山の見える西宗寺の角を曲がって、誰ともなく、“カリフォルニアだ”と叫んだ。
- 石を使った護岸がいい。
- みなとの風情はやっぱりいいな～。
- 狭いアイゴから見える海がいい。



7班「漁師と出会った!!
海と暮らしのあるまち西浜」



- イチオシは、釣りをしている人。
- たくさんの人と出会って新鮮だった。
- 突然見える海、香る潮、とんびの飛んでいるところがいい。
- まちの人がくつろいでいるところや挨拶してくれる子供たちと出会い、人がとってもあたたかいと感じた。
- 峨嵋山は昔島だった。



室積らしい景観は見つかりましたか？

- イチオシは、日和山から象鼻ヶ岬を見たところ。「見える」「見える」「感じる」の3つの景観があった。
- 峨嵋山は、すごいらかった。
- 手を入れないということは、自然を享受していることなんだと感じた。



2班「空と海が
集う日和山」



- イチオシは、高いところから見た学校。
- 山(展望台)から見た学校、ふるさと郷土館のイチヨウが大きかった。
- 高いところから見ると北海道の函館に似ているな～と思った。



5班「~~区~~ Jumbo 室積」



峨嵋山エリア

遠景エリア

タウンウォッチングと壁新聞づくりの様子

タウンウォッチングで発見した様々なあいご



レンガ塀の間のあいご



ブロック塀の間のあいご



建物の間のあいご



七・五・三の石



壁新聞づくりの様子



日和山から見る象鼻ヶ岬



峨嵋山から見る象鼻ヶ岬



古くからのお饅頭屋

ワークショップを終えて

景観アドバイザー

岡村氏



室積には、感情移入できる景観があるということが分かって良かったです。

愛着のある場所である、感情移入できる場所である、ということは多様なコミュニティが発生しているということがいえると思います。

「あいご」を、是非地域で守って頂いて、物語性のある景観として、育成して頂きたいと思います。

ファシリテーター

水沼氏

ワークショップはこれですべて終わりではなくて、次につなげていかなければならないと思います。

今日は、皆さんが心地よいと感じる景観を探し出して頂きましたが、みんなが共通に心地よいと感じるのか、季節や時間によって違うのか、という視点で、もう少し景観を探すことに取り組んでいく必要があります。



各グループにいろんな方がおられたため、大学生・中学生ならではの視点や、また、地元の人にしか分からない景観を見つけられたと思います。

室積を訪れてみるといろんな、優れた景観があることが分かったのではないのでしょうか。これを次につなげてほしいと思います。